

## 世界の羊肉レシピ

食べる!知る!旅する! 全方位的ヒツジ読本。



菊池 一弘/著  
グラフィック社  
2023.11  
176p 15×22cm  
596.33/ネ3Y  
2023.12.22 受入  
定価 2000 円+税

### 📖 内容紹介

羊は世界最古の家畜の一つとされながらも、日本での飼育が本格的にスタートしたのは江戸後期になってから。本書は、「羊齋協会」(ひつじかじりきょうかい) という消費者団体の代表である著者が、日本でもっと羊肉を広めべく、世界中のレシピに加え、羊に関するトピックも充実させた一冊。

また、山形県で羊肉専門の精肉店と飲食店を営んでいる行方進之介氏による、世界中の羊の現場を歩き、食してきた貴重な旅の記録も紹介されている。

### 🗨️ 図書館員のつぶやき

羊が一般的になる明治時代以前は、今年の干支の龍と同様、想像上の生き物として扱われていたとか。なんだか不思議。🐏

### 目次

#### PROLOGUE

羊は世界のごちそうだ! [ほか]

#### chapter 1 世界の羊肉レシピ

東、南アジア  
西、中央アジア&中東  
ヨーロッパ  
内臓

日本と羊とジンギスカン

#### chapter 2 羊のことをもっと知る

羊はどこから、どうして日本へ? [ほか]

#### chapter 3 世界で羊を食べまくる

モン・サン・ミッシェルの「プレ・サレ(塩牧場)」で育つ世界の美食家垂涎の羊(フランス) [ほか]

#### COLUMN

世界を席巻する羊串ワールド  
世界の憧れ ラムチョップの魅力  
英王室と羊と日本と産業革命  
羊とヨーグルトの深い関係

### 📖 関連書籍

#### 『羊と日本人』

山本 佳典/著 彩流社 2023.3

#### 『ラム肉の歴史』

ライオン・ヤーヴィン/著 名取 祥子/訳  
原書房 2019.7

#### 『羊の人類史』

サリー・クルサード/著 森 夏樹/訳  
青土社 2020.12

## 関孝和全集 第1巻 現代語訳

### 第2巻 訓読 影印

### 第3巻 資料 影印

関 孝和/[著] 上野 健爾/編集 岩波書店 2023.10

第1巻 17,1223p 23cm

第2巻 7,1056p 23cm

第3巻 9,1730p 23cm

419.1/ネ3X/(1)~(3) 2023.12.8 受入

定価 250,000 円+税

### 📖 内容紹介

『関孝和全集』は1974年に刊行されている(平山諦/他編 大阪教育図書)。しかし、1990年代以降、全国の機関に収蔵される関孝和関係史料の再調査が進み、新史料の発掘や再発見が続出した。本全集ではそれら史料等から、真に関孝和の著作と考えられるかを吟味し、収録の採否を決定していることに特色がある。

第一巻は総解説、著作類の現代語訳、年表、用語辞典、第二巻は関孝和の著作の訓読と影印、第三巻は関孝和の生涯と研究に関わる総合的な資料が収められている。

### 🗨️ 図書館員のつぶやき

3冊セットで27万5000円(消費税込)!! 個人じゃ買えません。ぜひ図書館資料をご利用ください。

## 🐏 関 孝 和 豆知識

◇ ?~1708。生年は不詳。

藤岡で生まれたという説や江戸出生説もある。



◇ 上毛かるたの読み札が「こうわ」なのは、尊敬する人の名前を音読みにする古い時代の習慣から。偉大な数学者として敬う気持ちをやんだ札とのこと。

◇ 勘定吟味役や御納戸組頭などを務めたが、徳川幕府等の公式記録には、関孝和の数学の業績はない。

### 📖 参考文献

『「上毛かるた」ゆかりの地文化めぐり ガイドマップ 第4版』群馬県 2021.3

『群馬県人名大事典』上毛新聞社 1982.11

『円周率の謎を追う』くもん出版 2016.11 ほか



本紙は、県立図書館が新たに収蔵した資料をご紹介します。県立図書館は、小説や実用書などの一般的な資料よりも、専門的な資料や通常の出版物ルートに乗らない郷土資料など、特定の利用者層や限定的なニーズを満たすような資料を収集する役割を担っています。“ニツチ” = “すき間” というタイトルにその意図を込めました。

【群馬県立図書館】 〒371-0017 前橋市日吉町一丁目9-1 電話: 027-231-3008

